

ZENRIN

証券コード：9474

2017年3月期 決算説明会

2017年5月16日

株式会社 **ゼンリン**
Maps to the Future

代表取締役社長

高山 善司

代表取締役副社長

網田 純也

執行役員コーポレート本部長

松尾 正実

1. 2017年3月期 決算概要

2. 2018年3月期 業績予想

3. 事業概況

Appendix

注)本資料には、本資料作成日時点で入手可能な将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済の動向・市場需要・競合状況・為替の変動等にかかわる様々なリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性がありますことをご承知おきください。尚、本資料掲載情報は、表示単位未満の端数切捨て、増減率の小数点以下第2位四捨五入し小数点第1位まで記載しております。また、増減率が1000%を超える場合、及び一方若しくは両方がマイナスとなる場合は「－」表記しております。

1. 2017年3月期 決算概要

- 1) 決算概要
- 2) 営業利益増減要因
- 3) 中長期経営計画(ZGP2020)で区分した事業別売上高
- 4) セグメント情報
- 5) キャッシュ・フロー推移

1-1) 決算概要

2017年3月期 決算のポイント

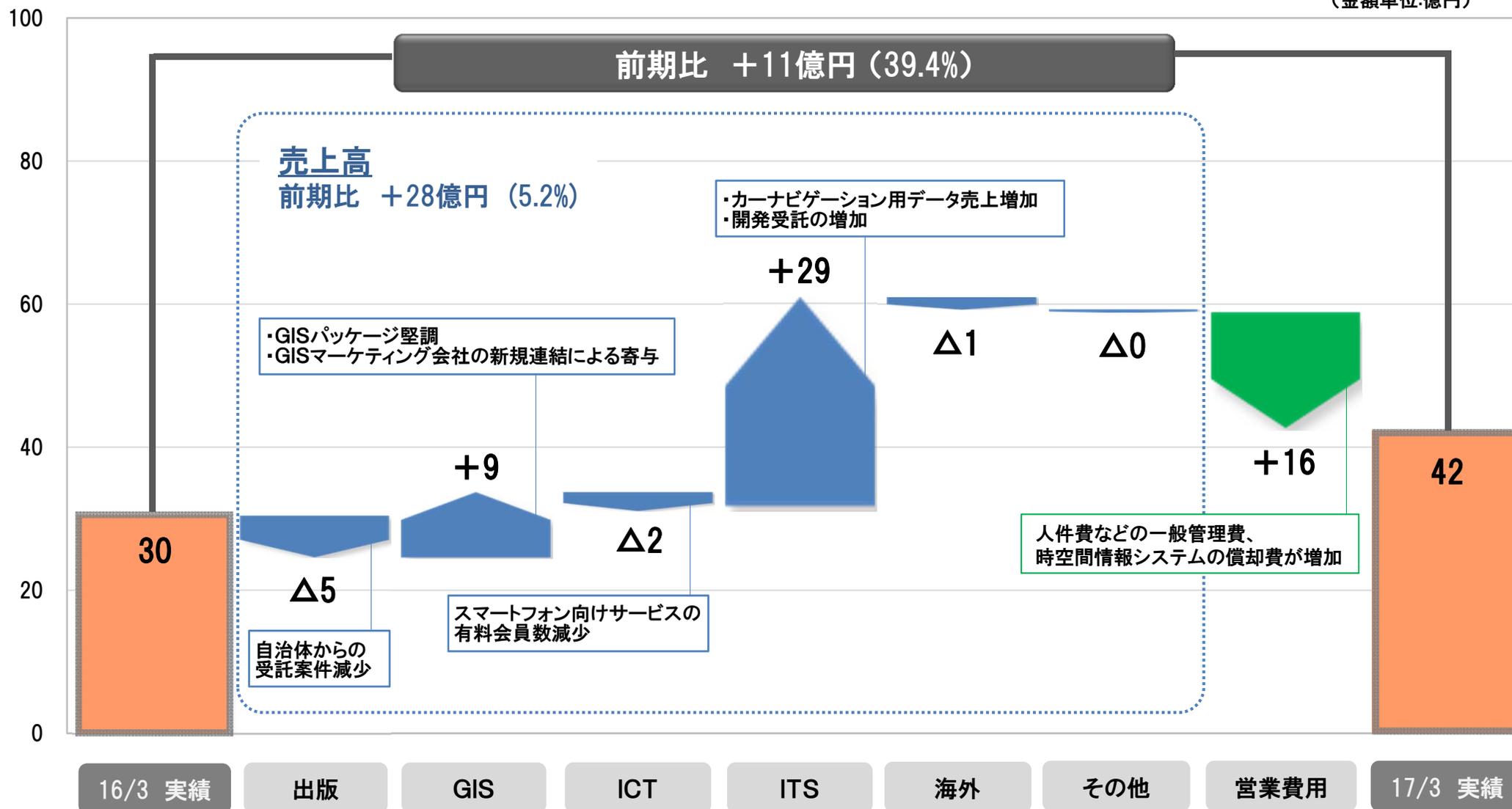
前期比、予想比<増収増益>

- 国内カーナビゲーション用データや開発受託などITS関連の売上増加に加え、住宅地図データベースを活用したGIS関連の売上も堅調に推移
- 売上高、営業利益、経常利益は、2期連続の増収増益(売上高は過去最高) 親会社株主に帰属する当期純利益は、3期連続の増益

(金額単位:百万円)

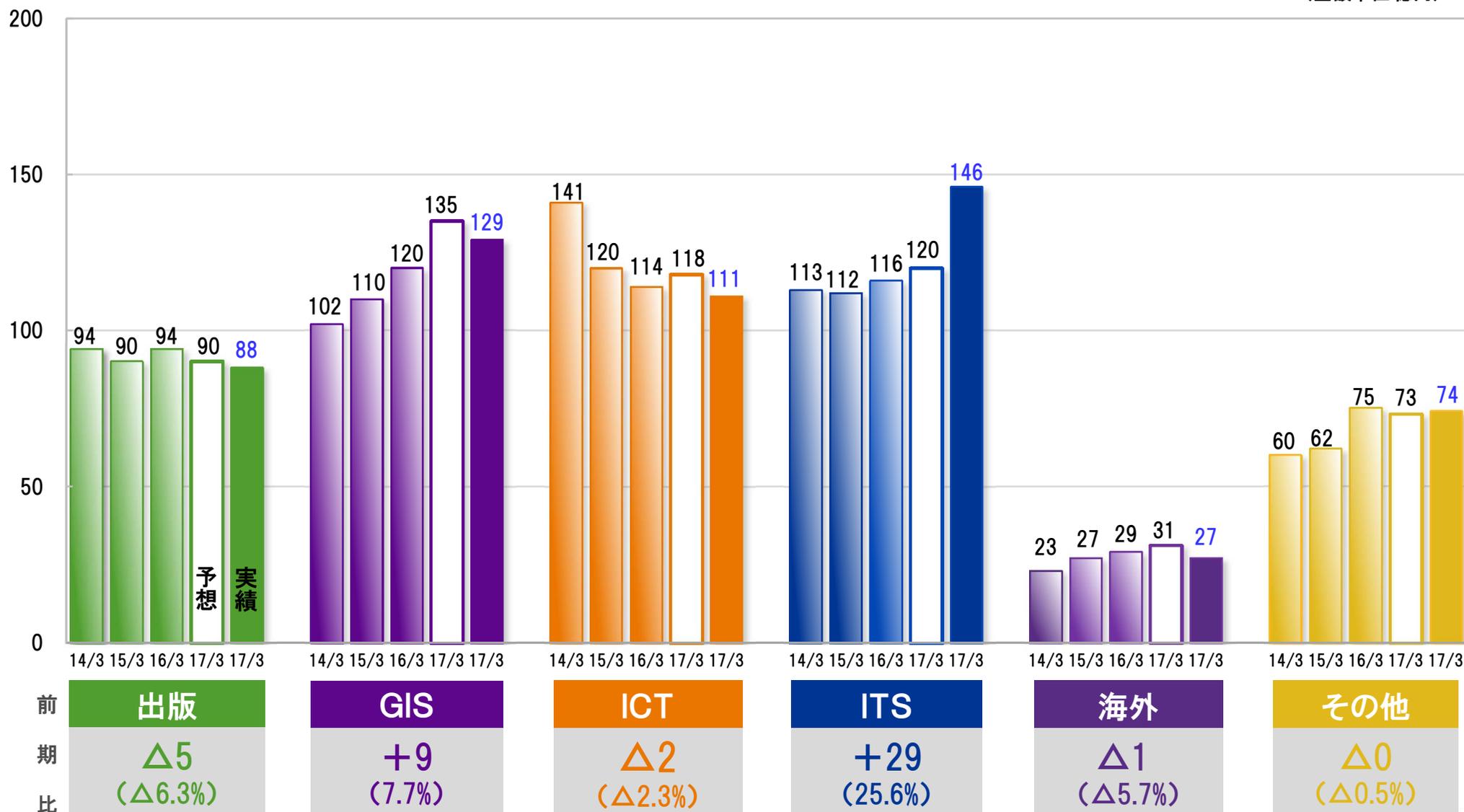
	2016年3月期 実績	2017年3月期 予想	2017年3月期 実績	前期比	増減率 (%)	予想比	増減率 (%)
売上高	54,970	57,000	57,819	2,849	5.2	819	1.4
営業費用	51,931	53,600	53,584	1,653	3.2	△15	△0.0
営業利益 営業利益率	3,038 5.5%	3,400 6.0%	4,234 7.3%	1,195 1.8pt	39.4	834 1.3pt	24.6
経常利益	3,427	3,700	4,527	1,100	32.1	827	22.4
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,610	2,200	2,462	851	52.9	262	11.9

1-2) 営業利益増減要因



1-3)中長期経営計画(ZGP2020)で区分した事業別売上高

(金額単位:億円)



※2014年3月期はZGP2015の事業区分で集計した売上高

1-4)セグメント情報

売上構成
比率

84.9%

1. 地図データベース関連事業

主要品目等：住宅地図帳、住宅地図データベース
国内外カーナビ用地図データ
スマートフォン向けサービス
各種メディア・デバイスへの地図情報提供等



2. 一般印刷関連事業

主要品目等：商業印刷



6.1%

3. その他

主要品目等：仕入商品、デジタルサイネージ
ダイレクトメール発送代行、インシップ広告



9.0%

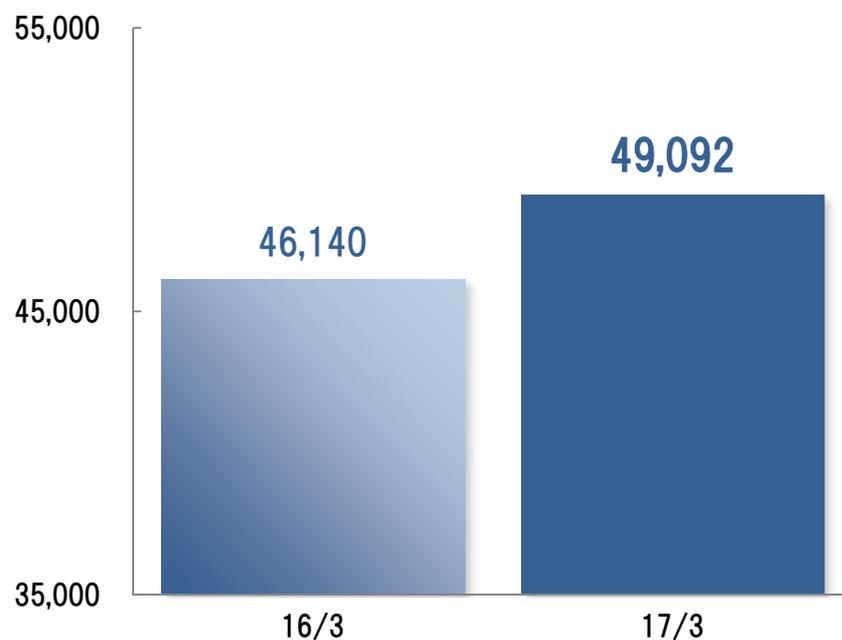
1-4)地図データベース関連事業

(金額単位:百万円)

売上高

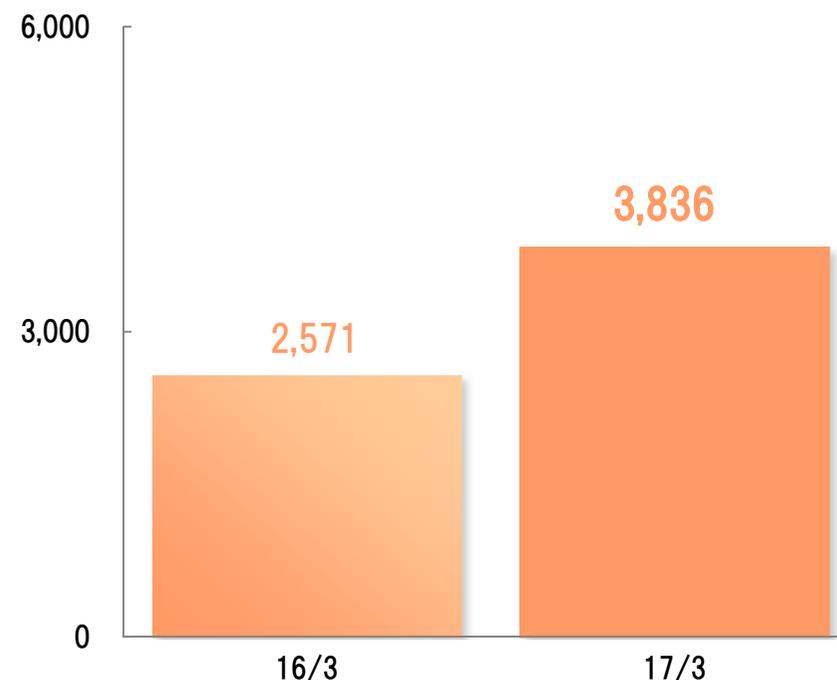
前期比

2,952増加 (6.4%)



営業利益

1,265増加 (49.2%)



- 国内カーナビゲーション用データや開発受託などITS関連の売上増加
- 住宅地図データベースを活用したGIS関連の売上も堅調に推移

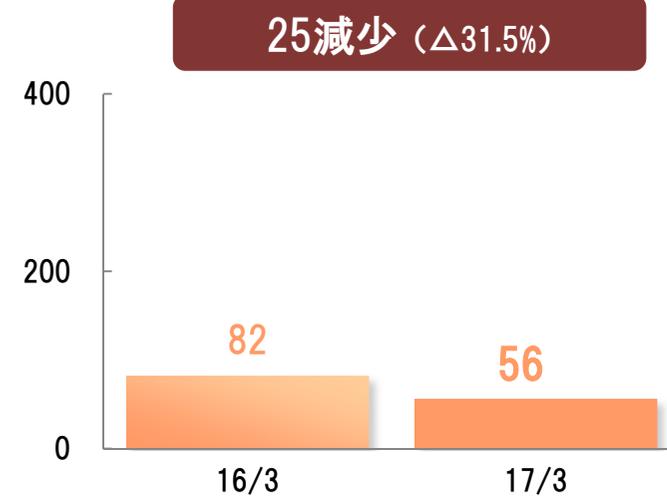
1-4) 一般印刷関連事業・その他

一般印刷関連事業

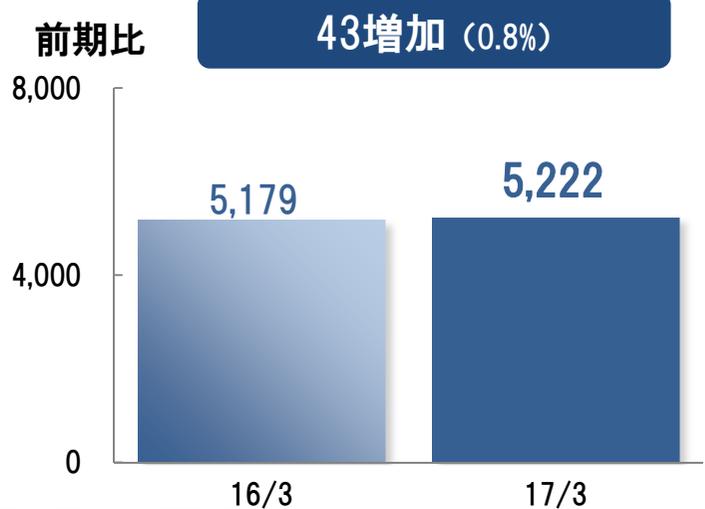
売上高



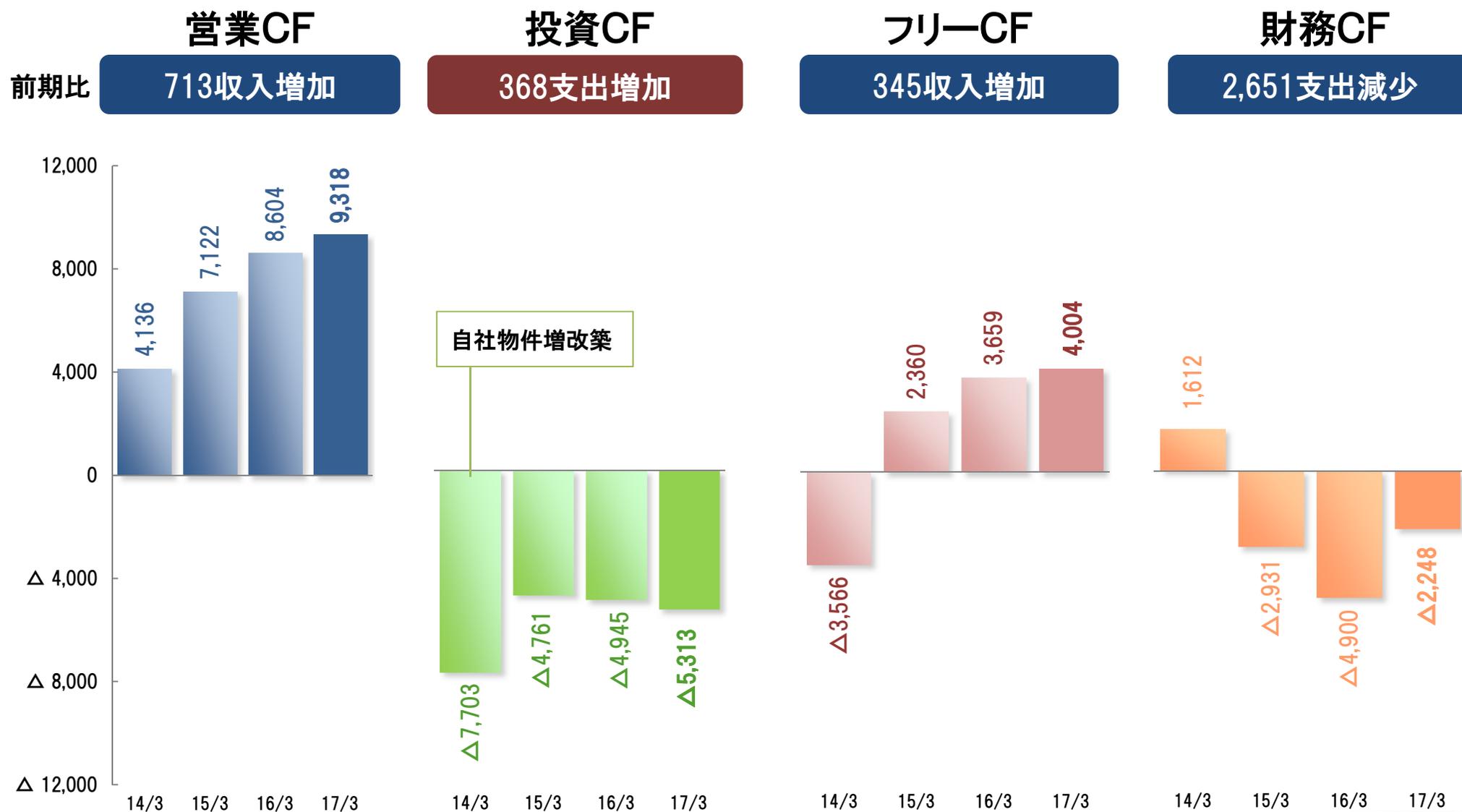
営業利益



その他



1-5) キャッシュ・フロー推移



2. 2018年3月期 業績予想

- 1) 通期業績予想
- 2) 配当金

2-1) 通期業績予想

2018年3月期 通期業績予想について

ZGP2020 3年目<増収増益>

既存事業による収益確保と新規事業基盤の確立

- GIS事業による収益確保
- ADAS・ドローンなど地図データ先行整備と提携強化
- 時空間情報システムの安定運用と商品開発

(金額単位:百万円)

	2017年3月期 実績	2018年3月期 予想	前期比	増減率(%)
売上高	57,819	60,000	2,180	3.8
営業費用	53,584	55,500	1,915	3.6
営業利益 営業利益率	4,234 7.3%	4,500 7.5%	265 0.2pt	6.3
経常利益	4,527	4,700	172	3.8
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,462	2,700	237	9.7

2-2) 配当金

基本方針

適正な内部留保を考慮しつつ、中長期経営計画における利益成長に基づいた利益還元を実施
連結株主資本配当率(DOE)3%以上を目標

2017年3月期配当金 (前期比)

中間	17円00銭 (+1円50銭)
期末(予定)	17円50銭 (+0円50銭)
年間(予定)	34円50銭 (+2円00銭)

2018年3月期配当金 (前期比)

中間(予想)	17円50銭 (+0円50銭)
期末(予想)	17円50銭 (—)
年間(予想)	35円00銭 (+0円50銭)



3. 事業概況

- 1) ZGP2020進捗と課題
- 2) 中長期経営計画(ZGP2020)で区分した事業別売上高
- 3) ZGP2020事業戦略
事業別売上高(実績/予想/ZGP2020目標)

3-1) ZGP2020 進捗と課題

	ZGP2020 実績と目標値			
	2016年3月期 実績	2017年3月期 実績	2018年3月期 予想	2020年3月期 目標
連結売上高	549億円	578億円	600億円	700億円
連結営業利益 (利益率)	30億円 (5.5%)	42億円 (7.3%)	45億円 (7.5%)	100億円 (14.2%)
ROE (自己資本当期純利益率)	4.0%	6.0%	6.3%	12%以上
DOE (連結株主資本配当率)	3.0%	3.1%	3%以上	3%以上

2017年3月期の 進捗/評価

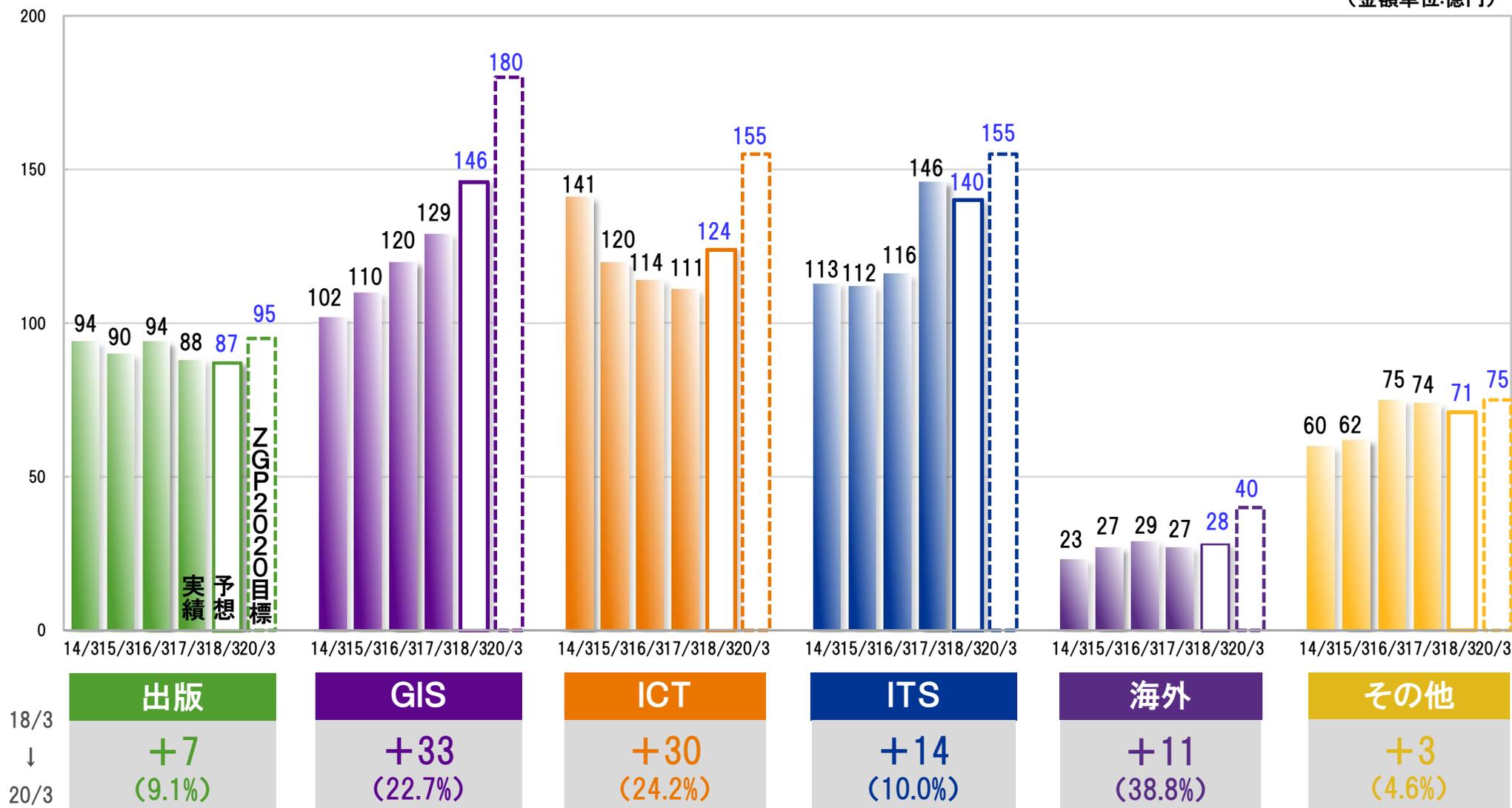
- ・GISパッケージ商品投入やGISマーケティング分野強化により安定収益確保
- ・ADAS向け高精度地図の先行開発、既存取引増加によるITS事業の収益拡大
- ・ADAS、ドローン等の先行開発を推進するため、更なる生産性の向上が課題

2020年3月期 に向けた課題

- ・GIS事業の更なる収益拡大のため、用途開発と販売戦略強化
- ・ADAS、観光分野での、自社/協業ビジネスモデル確立と早期収益化
- ・時空間情報システムを利用した商品/サービスの早期実現

3-2) ZGP2020で区分した事業別売上高 (18/3期→20/3期)

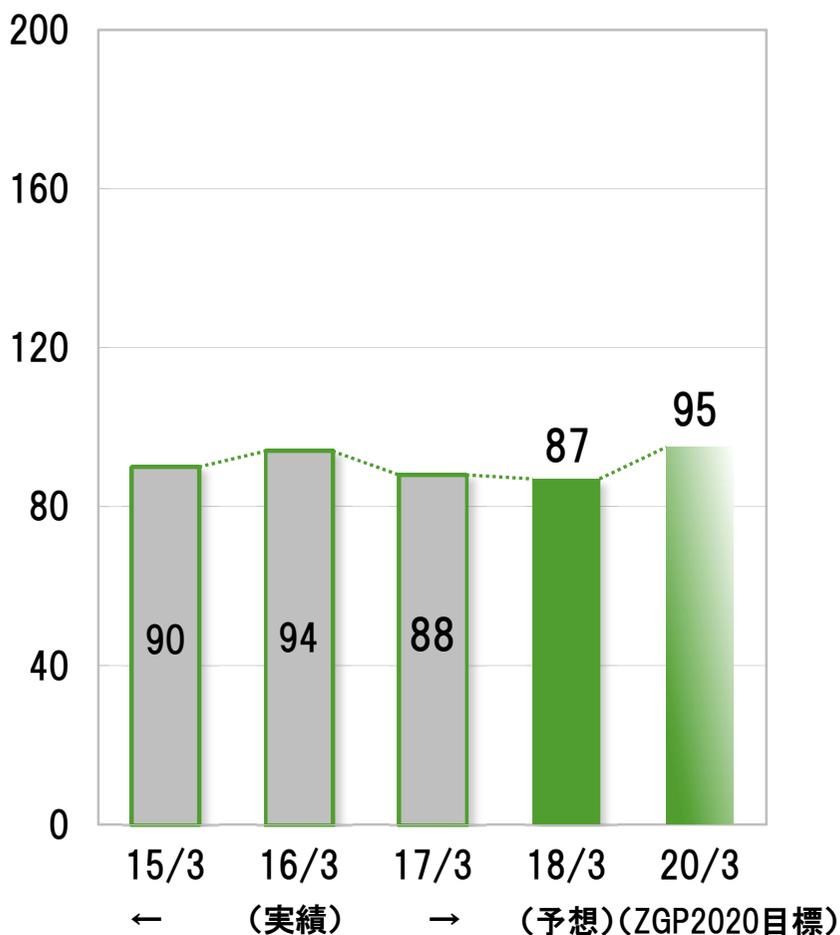
(金額単位:億円)



※2014年3月期はZGP2015の事業区分で集計した売上高

2018年3月期 売上高予想
前期比 $\Delta 1$ 億円($\Delta 1.4\%$)

プリントメディアの「コト」を追求



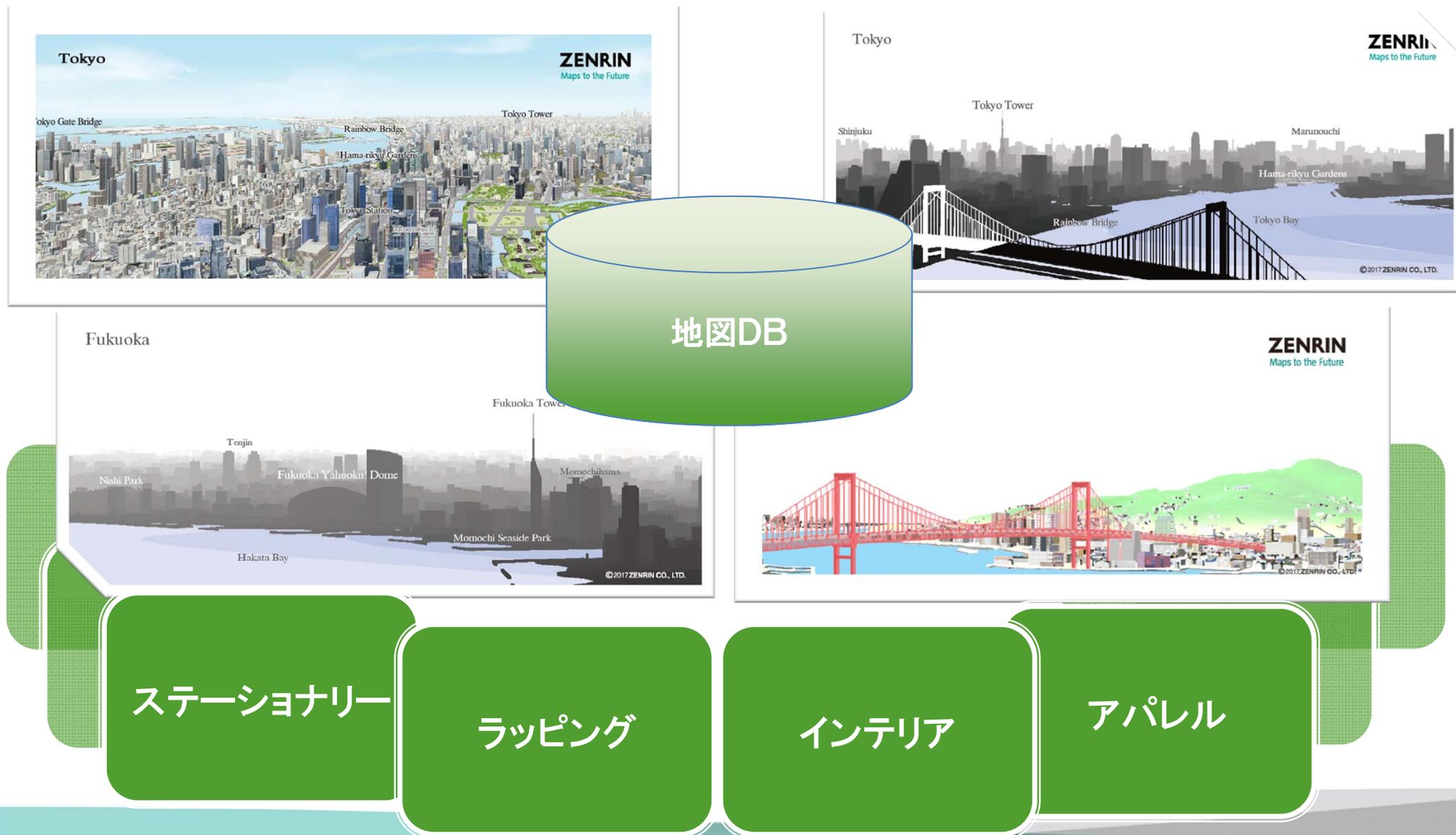
営業プロセス改革による営業リソースの創出

自治体を中心とした企画地図商品による売上拡大

新たな地図コンセプトで事業領域を拡大

- 「Map Designビジネス」で新たな領域を確立
- ・個人ユーザー向けMap Design商品を順次リリース
 - ・法人向け販売促進用商品を拡充
 - ・観光用プリントメディアで市場創造
 - ・オリンピック・パラリンピック関連商品で期間収益獲得

3-3) ZGP2020事業戦略 — 出版事業 — (Map Designビジネス)



地図ステーショナリー/ラッピング商品展開



「mati mati (マチマチ)」シリーズ
全国12都市展開



お茶の水女子大学
学生との共同商品企画



ラッピング業界リーディングカンパニー
シモジマ社とコラボしたマップバック
「東京を持ち帰ろう」
(第83回 東京ギフトショー春 2017で紹介)

アパレルデザインとして採用

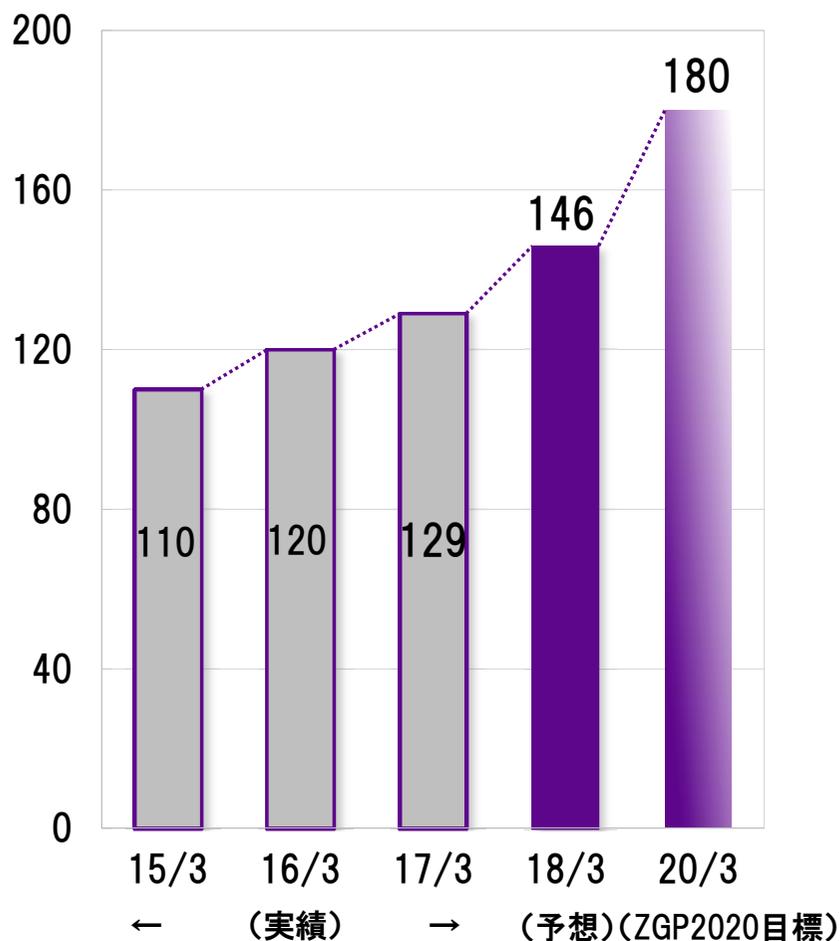
ゴルファー向けアパレルブランド
「MASTER BUNNY EDITION」
2017 SPRING & SUMMERの
ポロシャツデザインとして採用



3-3) ZGP2020事業戦略 —GIS事業—

2018年3月期 売上高予想
前期比 +17億円(+13.3%)

ゼンリンGISブランド別の戦略強化



自治体業務をターゲットとしたビジネス拡大

新規ビジネスモデルの確立

- ・SNS系販売促進支援ビジネスの収益拡大

ゼンリンGIS商品群の市場投入で収益拡大

- ・既存の住宅地図データ提供ビジネスの維持
- ・GISソリューションの強化
- ・GISパッケージ商品からセレクション商品へのアップセル
- ・新たなGISパッケージ商品のリリース

3-3) ZGP2020事業戦略 —GIS事業— (GISブランド構築)

GISブランド構築

※数値は2018年3月期
売上規模(前期比)

ソリューション

セレクション

パッケージ

官公庁/
自治体

大手企業

中小企業

マーケティング

オペレーション

営業

業務全般

120億円(+12)

専用システム向け住宅地図データ提供

- ・金融(担保評価、顧客管理、営業支援等)
- ・物流(配送、動態管理等) 他

住宅地図データとその他情報を活用

- ・建設業(物件情報、3D都市モデルデータ)
- ・不動産仲介業(物件管理、売買、空家、空地)
- ・インフラ(施設管理) 他

自治体業務をターゲットとしたビジネス確立

- ・消防・警察(緊急指令システム等)
- ・ハザードマップ、避難所、空家、空地、施設管理 他

6億円(+1)

- ・販促、出店計画
- ・移動、行動分析
- ・商圈分析

セレクション商品リリース

- ・パッケージ商品の機能、コンテンツ追加

20億円(+4)

パッケージ商品リリース

- ・不動産、土業、建設等の専門業務
- ・フィールドワーク

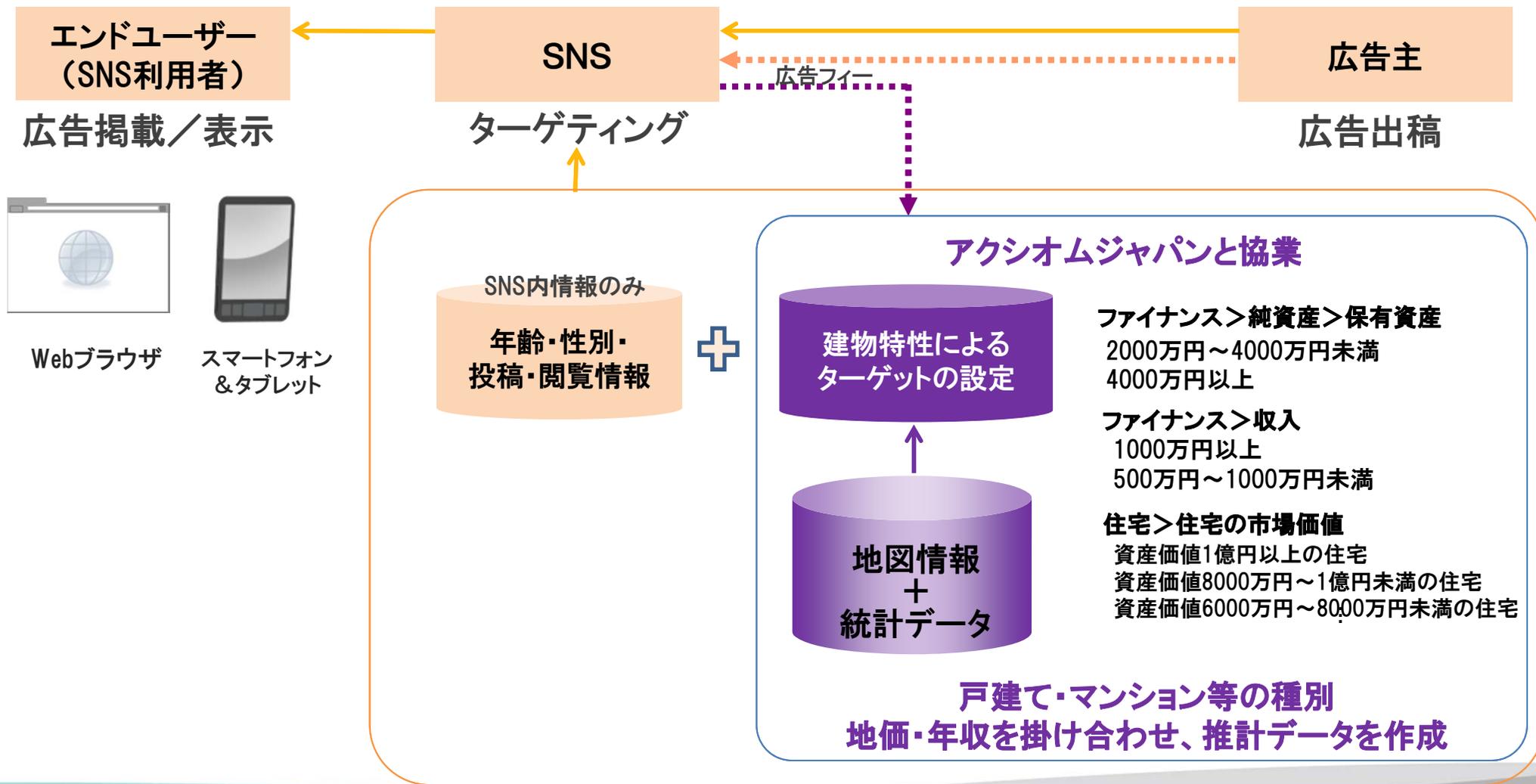
アップセル

3-3) ZGP2020事業戦略 —GIS事業— (SNS系販売促進支援ビジネス) ZENRIN

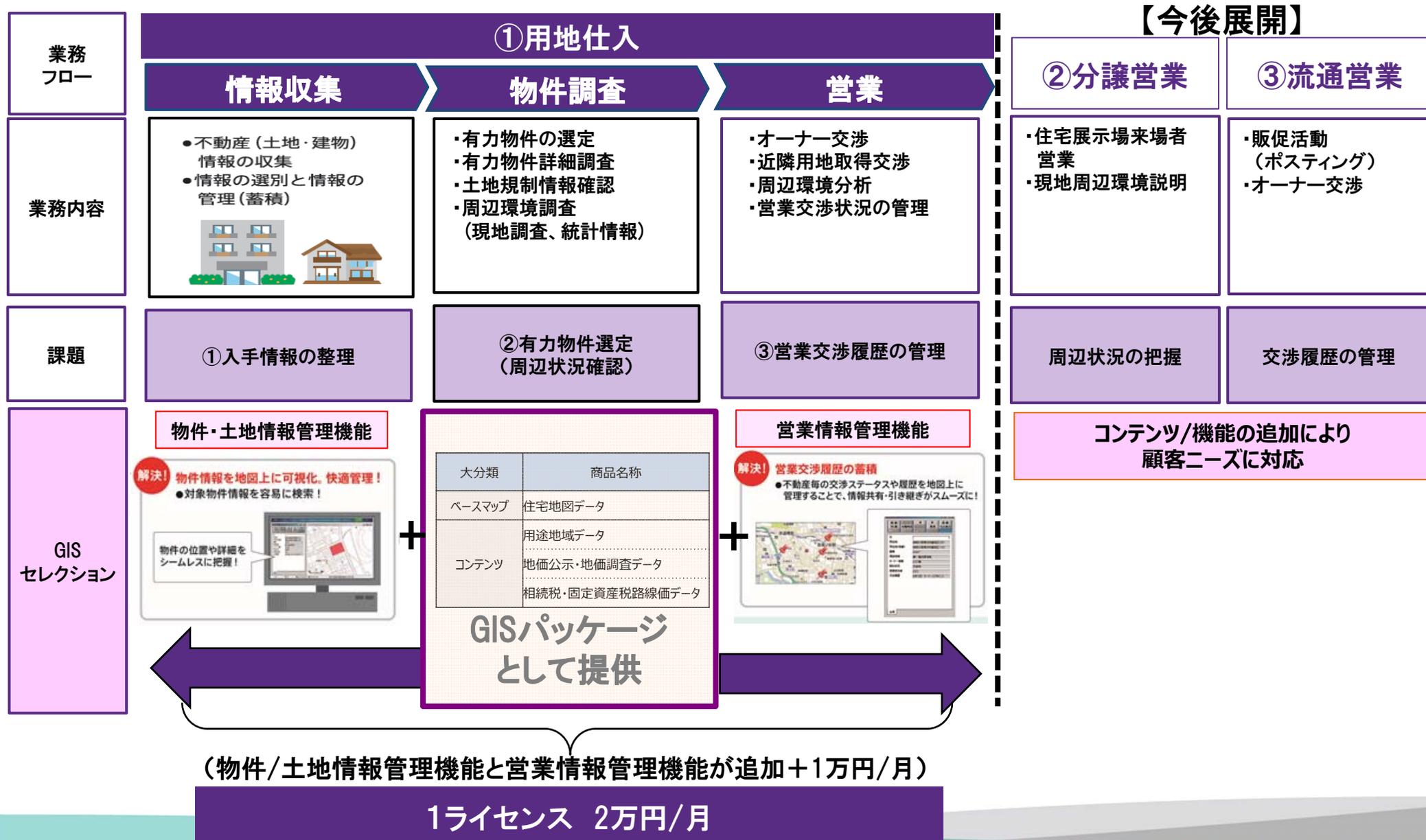
Maps to the Future

2017年3月期 決算説明会

主なクライアント
不動産、カーディーラー
金融、化粧品メーカー

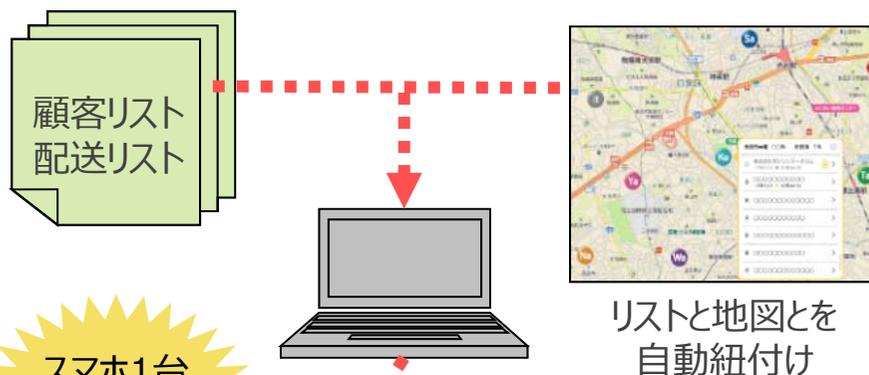


3-3) ZGP2020事業戦略 -GIS事業- (GISセレクション商品)



①事前準備

準備作業で朝バタバタすることはありません！



スマホ1台
持ち出せば
OK！

持ち出し用の
スマートフォンと連携

- 紙を利用していたユーザは
事前地図確認作業と印刷が不要
- 持ち物も少なく、準備に時間を
取られないため、営業や他業務の
時間を確保できる

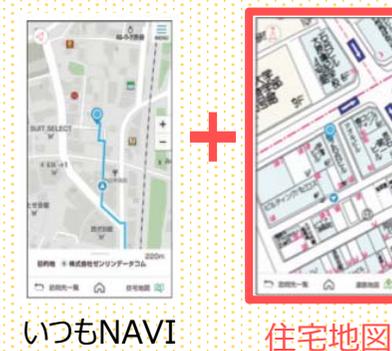


②訪問

もう目的地付近で迷うことはありません！

いつもNAVIマルチの「ドアtoドア」高性能ナビゲーションと、
現場付近では200m四方の住宅地図が閲覧可能。

- 常に最新の地図で正しく誘導
- 目的地の入り口付近までの
案内が可能
- スマホ1台で顧客情報の
確認やナビもワンストップで



いつもNAVI

住宅地図

③帰社後

報告資料の作成作業軽減！

現地で入力した情報はクラウド上に記録
帰社後の作業が軽減

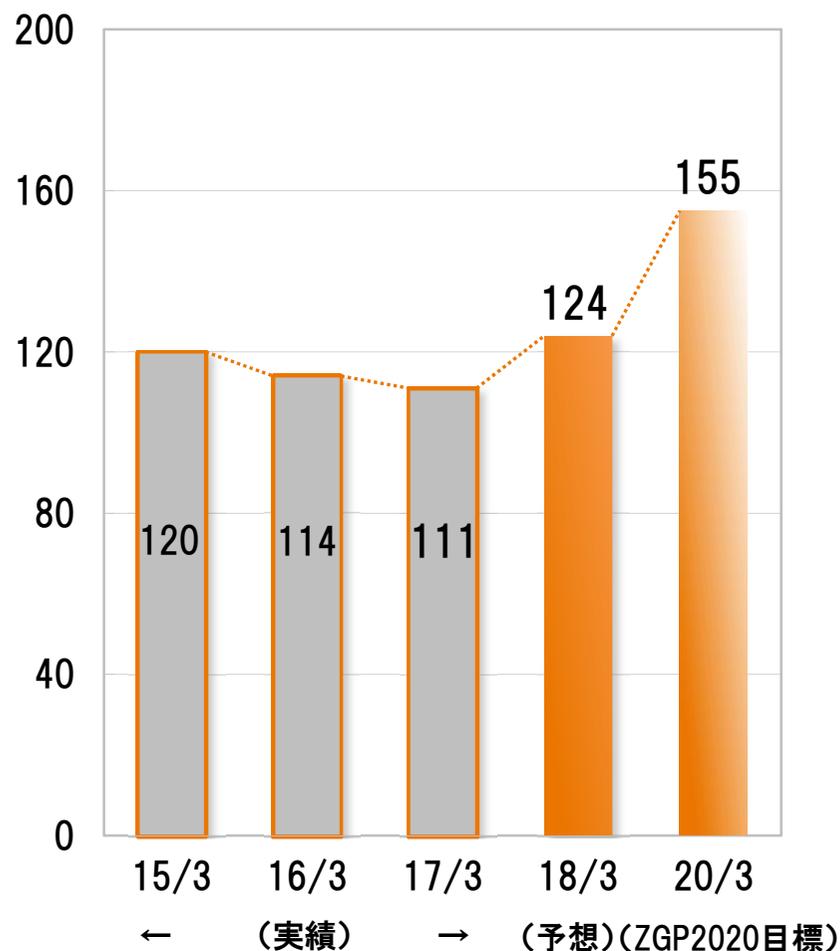
- 余った時間を他業務に回せる



3-3) ZGP2020事業戦略 —ICT事業—

2018年3月期 売上高予想
前期比 +13億円(+11.7%)

ITメディアからIoTプラットフォームへ



時空間コンテンツ提供による地図DB利用価値の向上

ITメディアへの地図提供ビジネスから
トータルソリューションビジネスへ

- ・大手ポータルや交通事業者などの新サービス構築
- ・テレマティクスによる動態管理システムの拡販

新規事業領域での収益拡大

- ・ドローンビジネスでの技術基盤、収益基盤の確立
- ・デジタルサイネージ関連での位置情報ビジネスの拡大
- ・3Dデータを活用したソリューションサービスの提供

3-3) ZGP2020事業戦略 —ICT事業— (ドローンビジネス)

ロードマップ



【レベル1、2】
目視内操縦飛行
目視内自律飛行

現在



【レベル3】
離島・山間部などの
無人地帯での目視外飛行

2018年



【レベル4】
都市部等の有人地帯
での目視外飛行

2020年以降

必要とされる機能と役割

誘導

ドローンが安全に
飛行できるルート提供

管制

ドローンの管制システム
への地図情報提供

制御

ドローンの自己位置特定
事故原因等の用途

通信

気象

地図

クラウド

運行管理統合機能

3-3) ZGP2020事業戦略 —ICT事業— (ドローンビジネス)

取り組み



産官学連携の強化

技術基盤の確立

収益基盤の確立

「空の3次元地図」の研究開発

ドローン専用プラットフォーム

東京電力ホールディングス(株)との
「ドローンハイウェイ構想」提携

KDDI(株)・(株)プロドローンとの
「スマートドローン構想」提携

(社)日本UAS産業振興協議会・ブルーイノベーション(株)との
「ドローン専用飛行支援サービス～SORAPASS～」提供

NEDO(国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構)

■件名「ロボット・ドローンが活躍する省エネルギー社会の実現プロジェクト」

■事業内容

小口輸送の増加や積載率の低下などエネルギー使用の効率化が求められる物流分野や、効果的かつ効率的な点検を通じた長寿命化による資源のリデュースが喫緊の課題となるインフラ点検分野において、無人航空機やロボットの活用による省エネルギー化の実現が期待されている。

本プロジェクトでは、物流、インフラ点検、災害対応等の分野で活用できる無人航空機及びロボットの開発を促進するとともに、社会実装するためのシステム構築及び飛行試験等を実施する。

■助成事業採択予定先として決定

「無人航空機の安全航行のための空間情報基盤の開発」

決定 「ロボット・ドローンが活躍する省エネルギー社会の実現プロジェクト」に係る実施体制の決定について

平成29年5月16日

概要

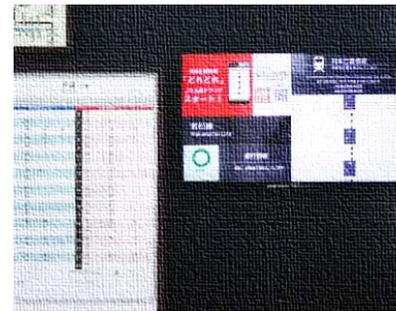
技術・事業分野	ロボット・AI	プロジェクトコード	P17004
事業名	ロボット・ドローンが活躍する省エネルギー社会の実現プロジェクト		
事業分類	研究(委託、共同研究、助成)		
対象者	企業(団体等を含む) 大学等		
問い合わせ先	ロボット・AI部 担当者:宮本、山中、内山、永松 FAX:044-520-5243 E-MAIL:robot-ai@nedo.go.jp		

多言語にも対応したサインリニューアル
 キャナルシティ博多に設置するアナログサイン、
 デジタルサイネージ、WEB・スマートフォンサイト構築



訪日外国人対応の運行情報案内システム開発
 多言語表示 & 音声による運行情報通知システムを
 JR九州と共同開発
 (JR九州の主要30駅に設置、運用開始)

＜発券機・掲示版等と並列設置＞



＜画面イメージ＞



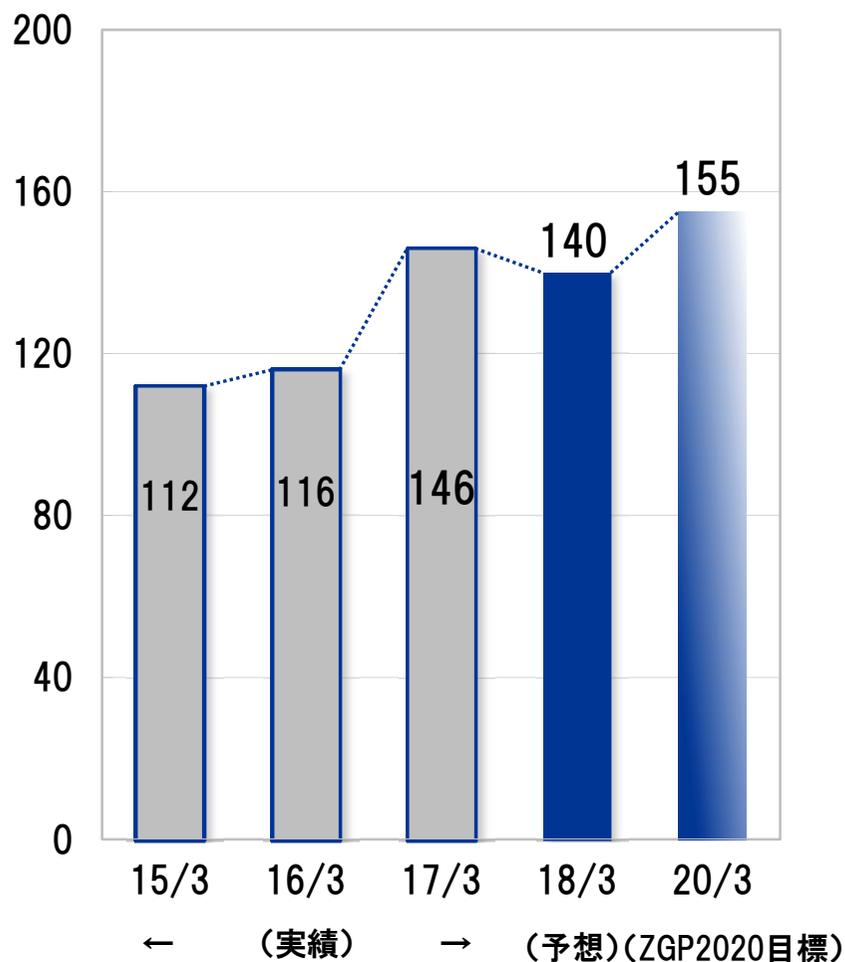
宿泊施設向けに特化した
 多言語デジタルサイネージソリューション提供

＜フロントスタッフの、多言語案内業務を支援＞



2018年3月期 売上高予想
前期比 $\Delta 5$ 億円($\Delta 3.8\%$)

自動運転時代への対応強化



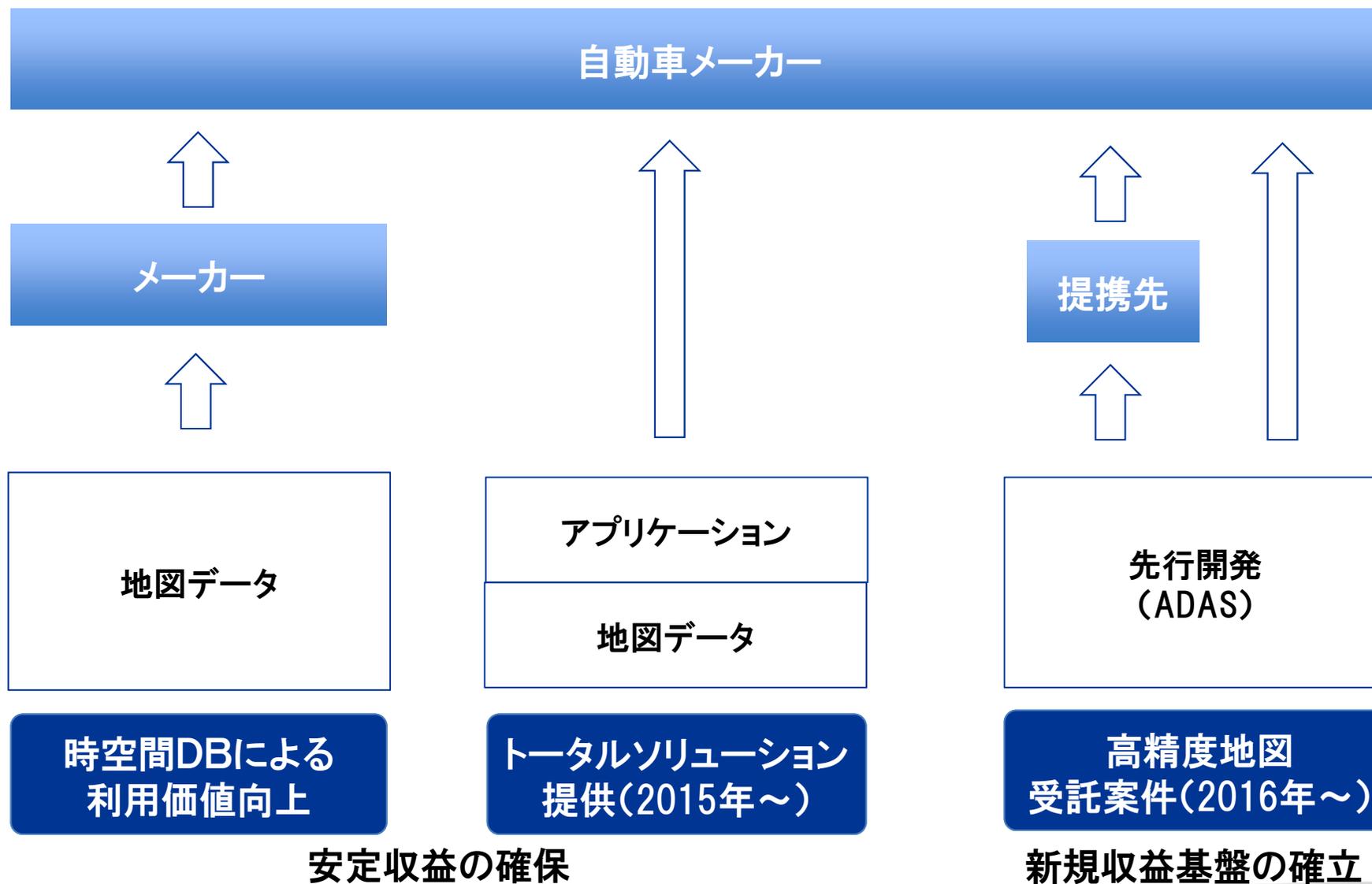
時空間コンテンツ提供による地図DB利用価値の向上

国内ITS市場におけるトータルソリューションの提供

高精度地図の先行開発及び各社対応力強化

- ・先行開発データの採用推進
- ・各OEMメーカーの量産に対応した体制構築

3-3) ZGP2020事業戦略 —ITS事業— (国内ITS市場での取り組み)



自動運転機能の実現に向けた開発・整備



「ダイナミックマップ基盤企画株式会社」に出資

2016年6月

当社、三菱電機(株)、(株)パスコの3社が設立発起人となり合計15社の出資により設立

＜ダイナミックマップ基盤企画株式会社における取り組み＞ *リリース時

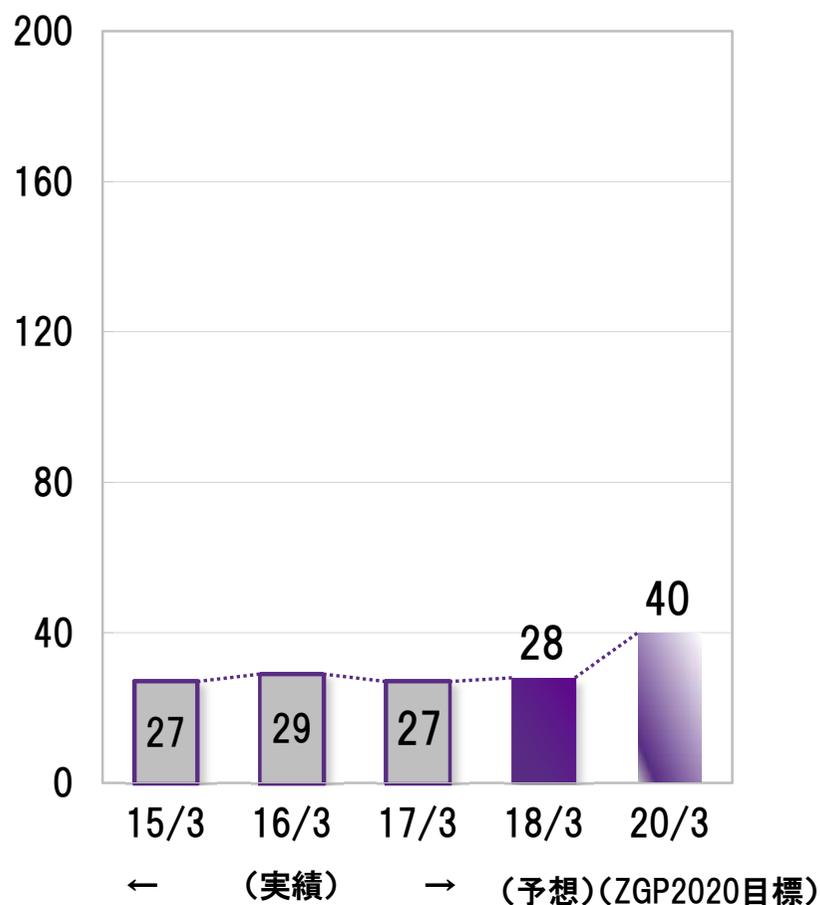
- ・ダイナミックマップの高精度3次元地図などの整備、実証、運用検討
- ・全国自動車専用道路と一般道での実運用に向けたデータ仕様や構築手法の標準化、メンテナンスなどの実証と決定
- ・永続的な整備・更新を前提とした事業化の検討
- ・2017年度中をめどに事業会社として、日本国内における「ダイナミックマップ協調領域」の整備推進

	会社名	出資比率
発起人	三菱電機(株)	18.0%
	(株)ゼンリン	17.0%
	(株)パスコ	17.0%
地図会社	アイサンテクノロジー(株)	6.0%
	インクメント・ピー(株)	6.0%
	(株)トヨタマップマスター	6.0%
自動車会社	いすゞ自動車(株)	3.3%
	スズキ(株)	3.3%
	トヨタ自動車(株)	3.3%
	日産自動車(株)	3.3%
	日野自動車(株)	3.3%
	富士重工業(株)	3.3%
	本田技研工業(株)	3.3%
	マツダ(株)	3.3%
	三菱自動車工業(株)	3.3%

3-3) ZGP2020事業戦略 —海外事業—

2018年3月期 売上高予想
前期比 +1億円(+4.4%)

グローバルアライアンス再構築



インドビジネス拡大

ASEANビジネスの立ち上げ

海外GISの立ち上げ

車載ソフトウェアと連携した
ソリューションサービスの採用拡大

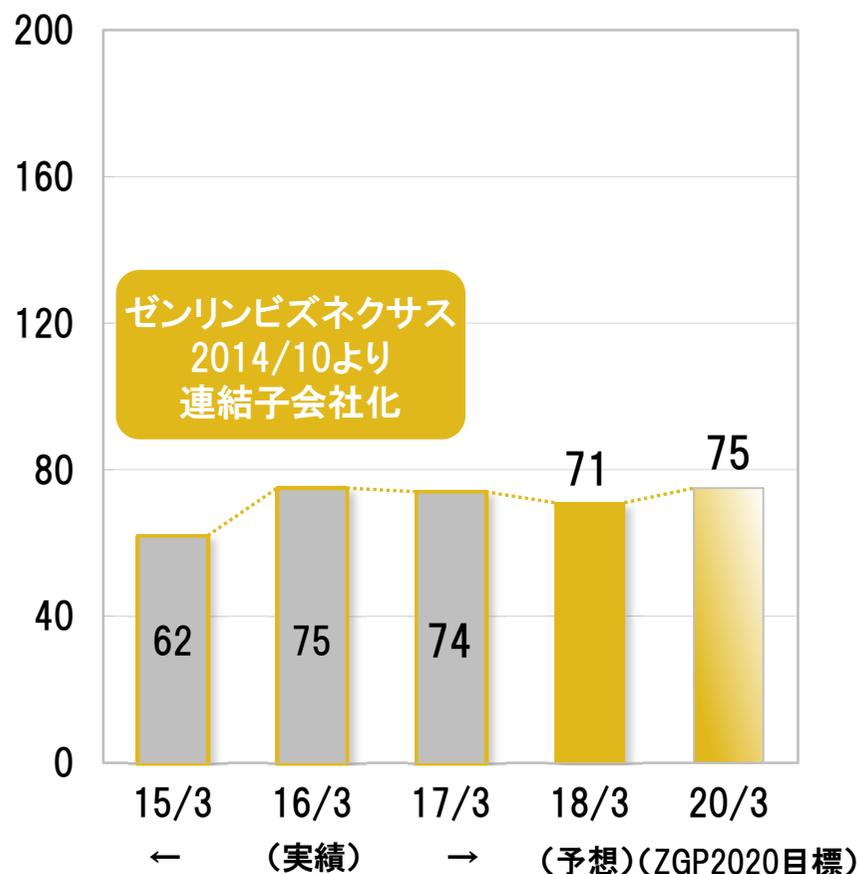
3-3) ZGP2020事業戦略 —その他事業— (一般印刷・ダイレクトプロモーション等)

2018年3月期 売上高予想
前期比 $\Delta 2$ 億円($\Delta 3.9\%$)

グループシナジー再検証

一般印刷ビジネスの収益改善

ダイレクトプロモーションの収益維持



Appendix

2018年3月期 業績予想

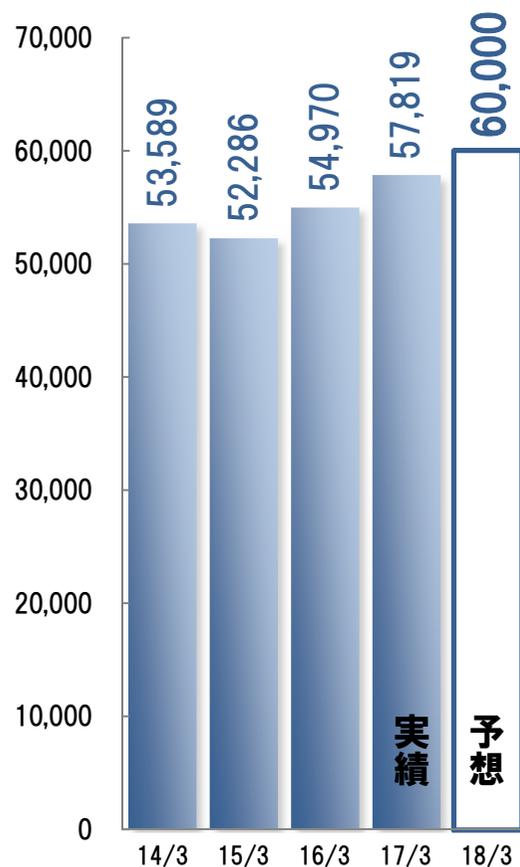
- 1) 売上高・利益の推移
- 2) セグメント情報
- 3) 設備投資額・減価償却費・研究開発費
- 4) 四半期売上高構成比 推移
- 5) 事業トピック

1) 売上高・利益の推移

2017年3月期 決算説明会

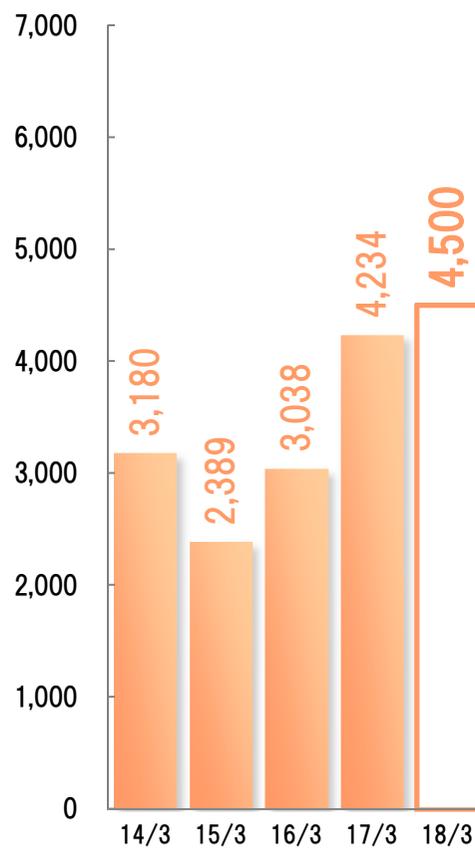
(金額単位:百万円)

売上高



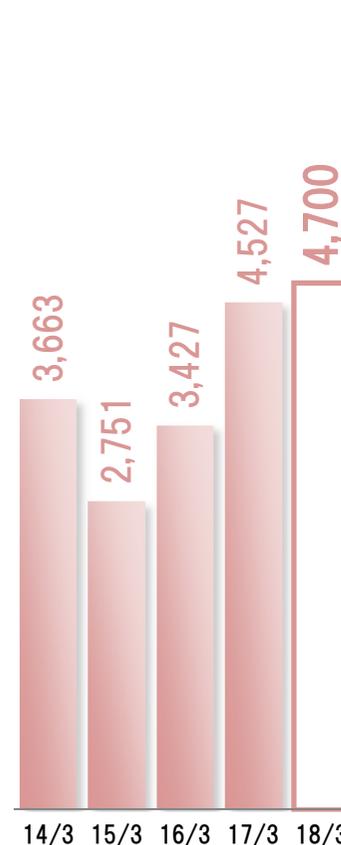
3期連続増収/過去最高

営業利益

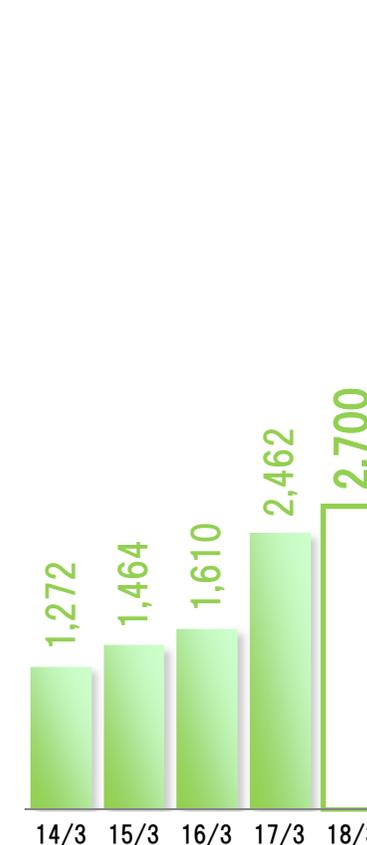


3期連続増益

経常利益



3期連続増益

親会社株主に帰属
する当期純利益

4期連続増益

売上構成
比率

85.1%

1. 地図データベース関連事業

主要品目等：住宅地図帳、住宅地図データベース
国内外カーナビ用地図データ
スマートフォン向けサービス
各種メディア・デバイスへの地図情報提供等



2. 一般印刷関連事業

主要品目等：商業印刷



3. その他

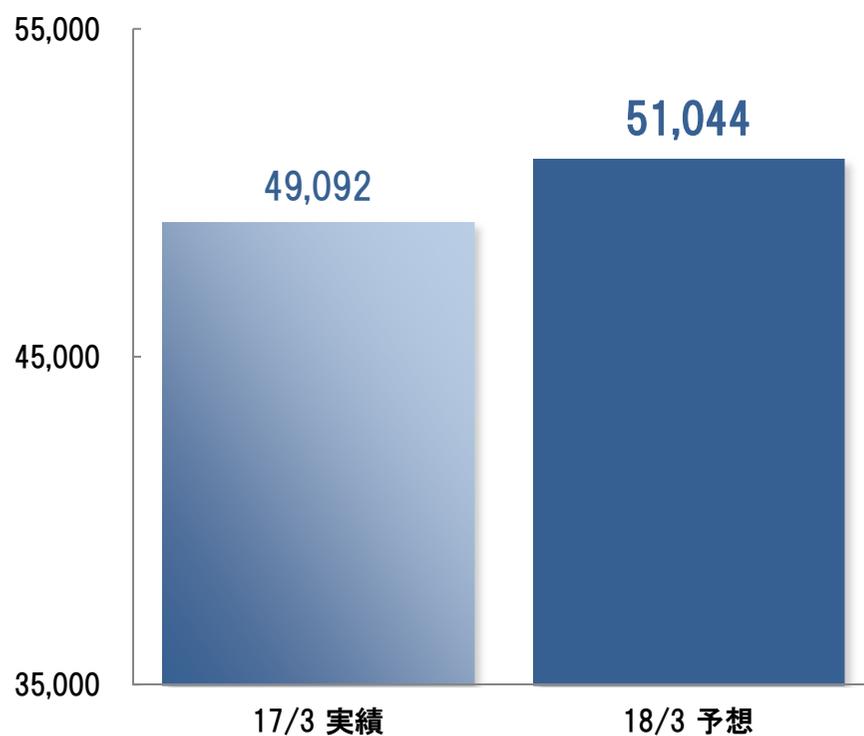
主要品目等：仕入商品、デジタルサイネージ
ダイレクトメール発送代行、インシップ広告



売上高

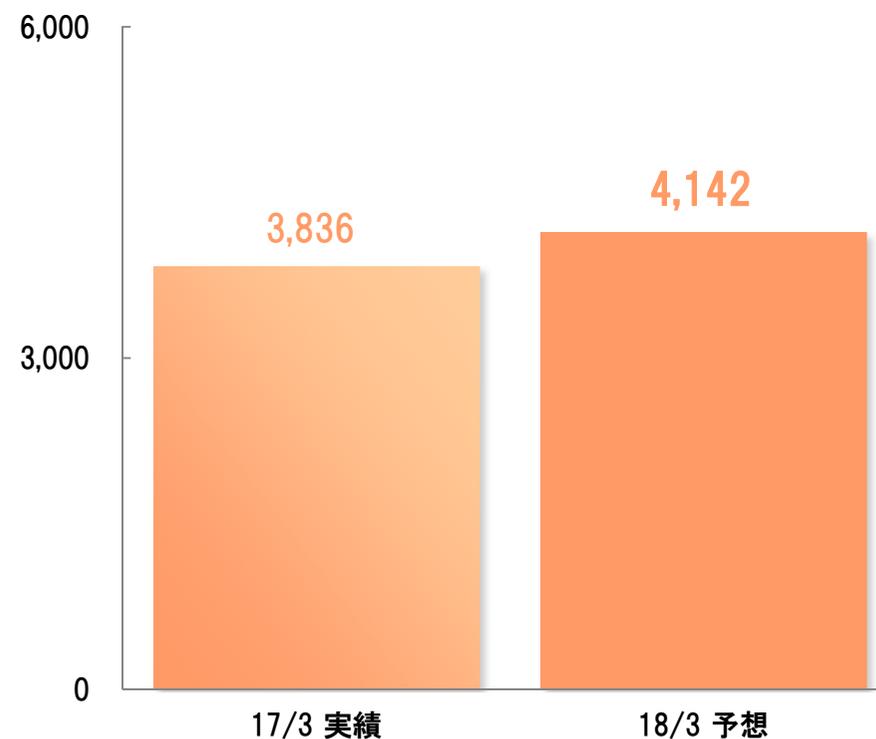
前期比

1,952増加 (4.0%)



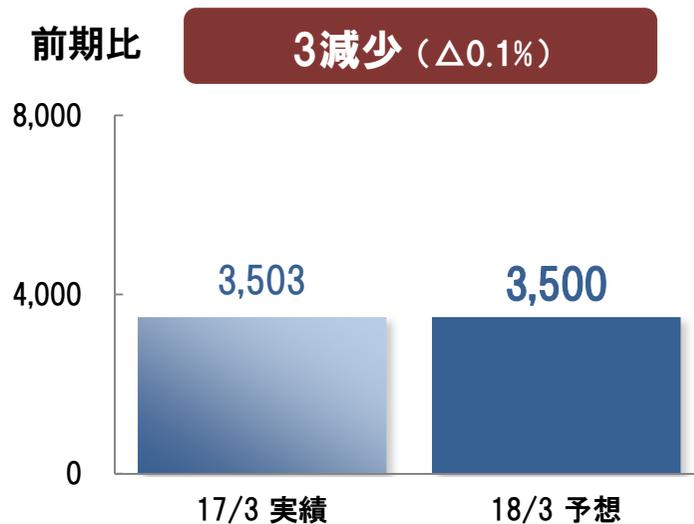
営業利益

305増加 (8.0%)

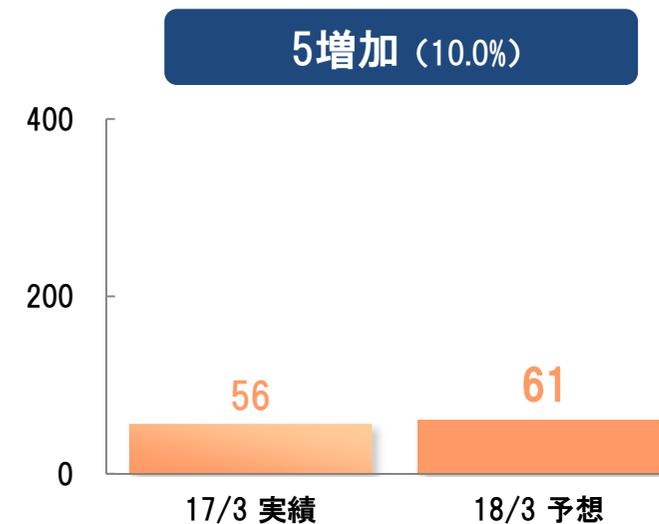


一般印刷関連事業

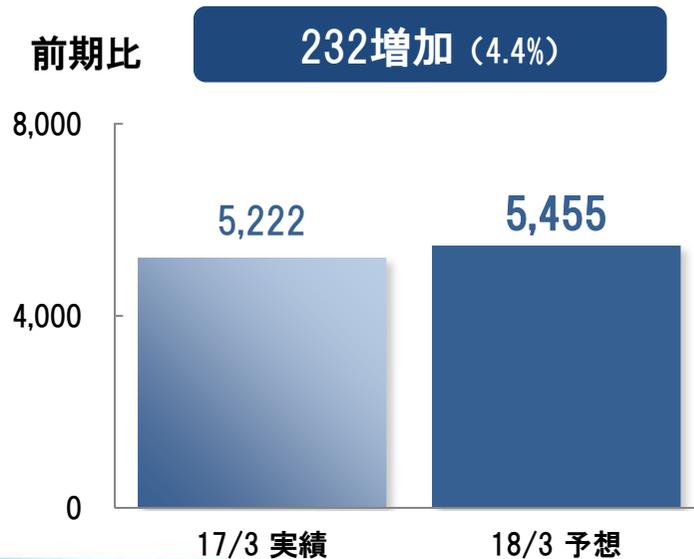
売上高



営業利益

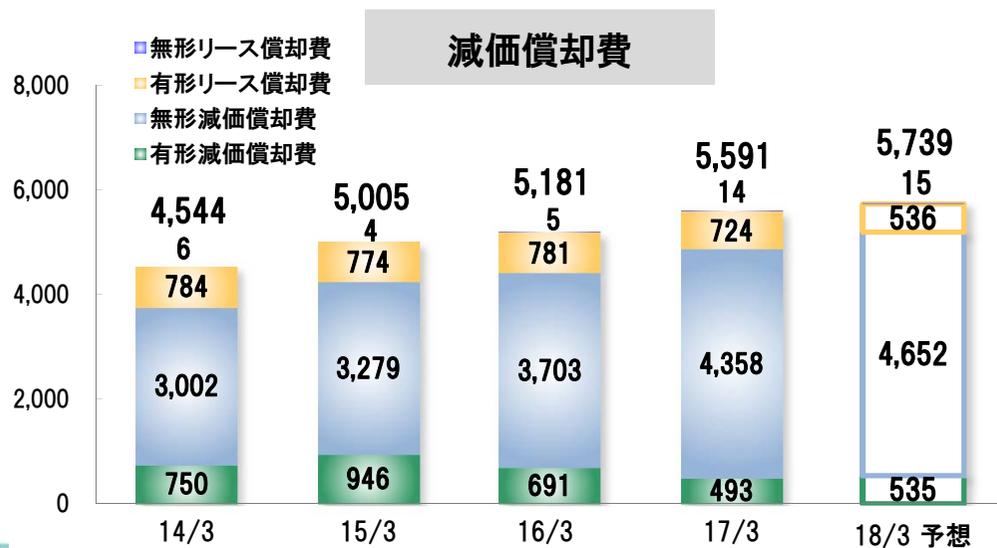
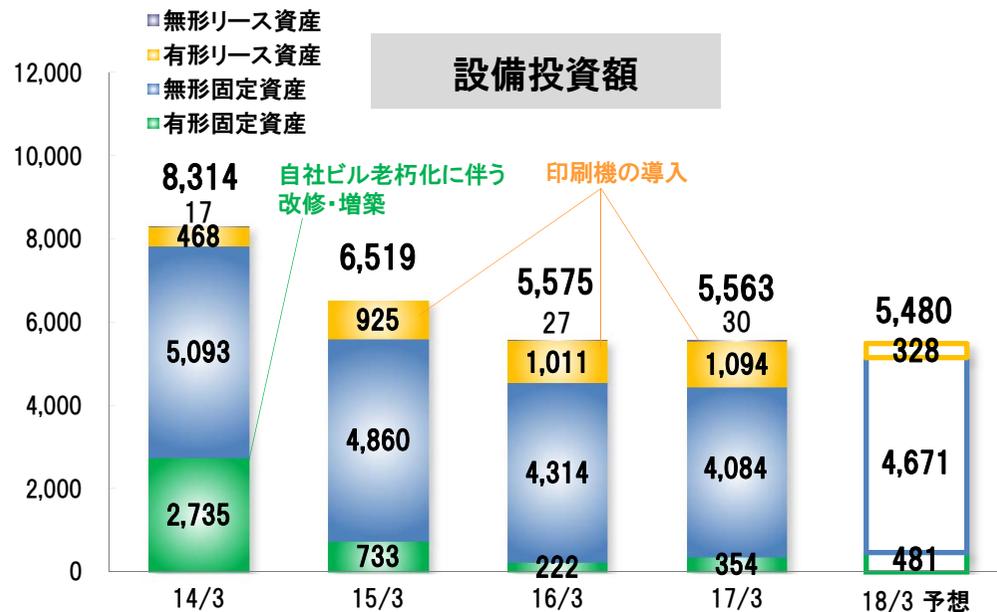


その他



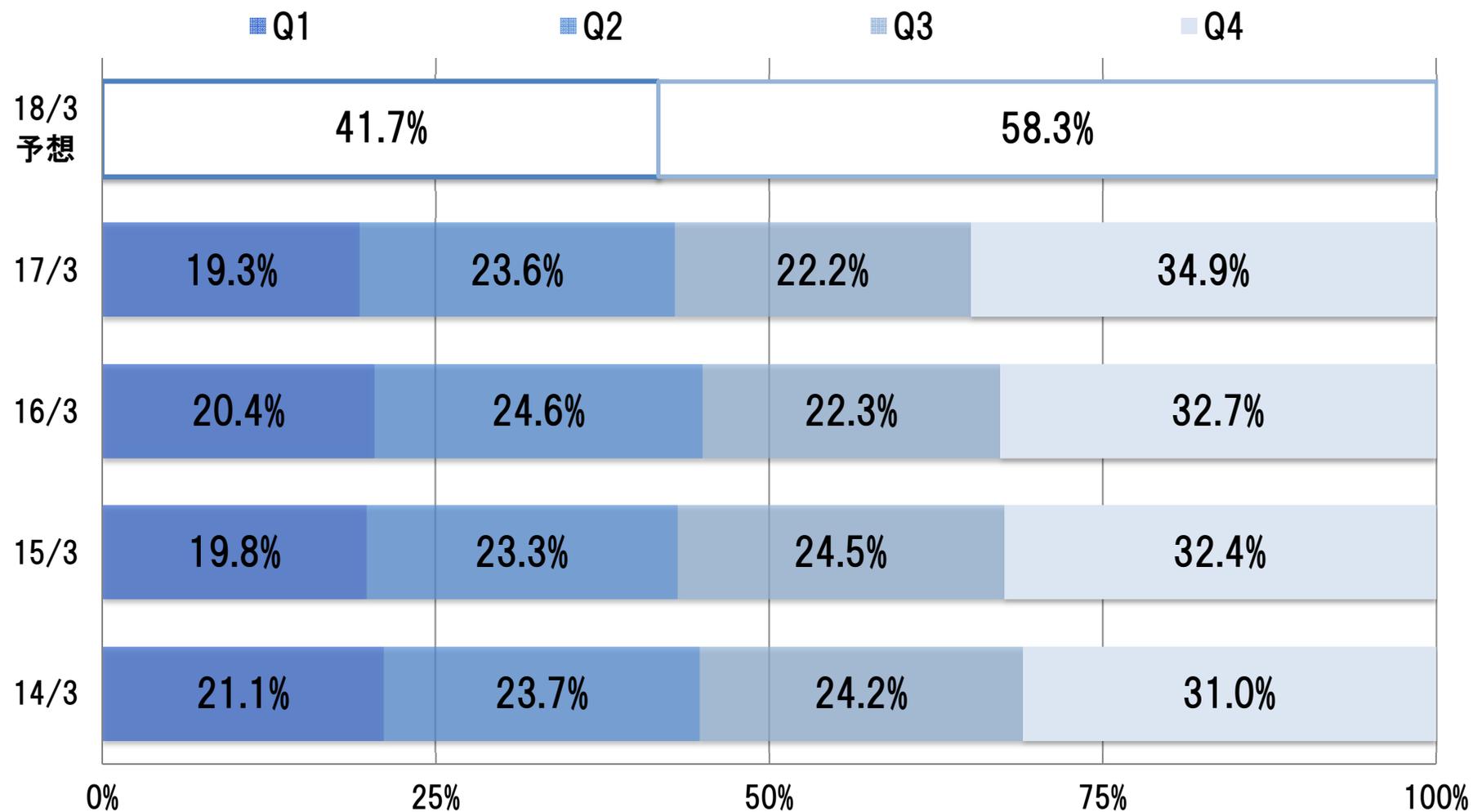
3) 設備投資額・減価償却費・研究開発費

(金額単位:百万円)



4) 四半期売上高構成比 推移

2017年3月期 決算説明会



■(株)ゼンリンジオインテリジェンスとアクシオムジャパン(株)がインターネット広告のターゲティング用データの分野で協業 (2017年1月18日)

ゼンリンジオインテリジェンスの建物別ライフスタイル分類データを、広告ターゲティングを可能にする形式に編集し、より詳細なインターネット広告のターゲティングを可能にするデータとして、アクシオムから提供を開始（日本におけるFacebookパートナーカテゴリに採用）

◆建物別ライフスタイル分類データ

当社が保有する日本全国約3,200万軒の建物データをもとに、ゼンリンジオインテリジェンスが戸建て・マンションなどの建物の特性と、収入・貯蓄などの統計データに、人口密度や土地の価格といった地域特性を加味して、分類・推計したデータ

※住んでいる地域から推計したもので、個人を特定できるものではありません

～これまでの一般的なインターネット広告のターゲティング～

デモグラフィックと呼ばれる年齢・性別などと、サイコグラフィックと呼ばれる趣味・嗜好などを用いる手法

～建物別ライフスタイル分類データによるインターネット広告のターゲティング～

建物別ライフスタイル分類データから生成されたセグメントを使ってターゲティングすることで、より親和性の高いユーザーへの広告配信が実現可能

Facebook広告アカウントがあれば法人・個人を問わず誰でも広告主として広告を配信でき、よりターゲットを絞りたい広告主にとって、より見込みの高い層への広告配信が可能

GIS

■(株)ゼンリンジオインテリジェンスは、ブラウザで商圈分析ができるクラウド型サービス「マケプラ」に販促の検証や計画を支援する新プランを追加 (2017年2月28日)

WEBブラウザで簡単に利用できるクラウド型の商圈分析サービス「Market Platform(通称:マケプラ)」に、ユーザーが持つ顧客データを取り込めるプラン「スタンダード」を追加

顧客データと、搭載している統計データを合わせることで、顧客が住んでいるエリアの市場規模に対して、どの程度リーチできているか、販売できているかといった現状を把握でき、販促の検証や、今後の販促・営業計画作成に役立てることが可能

◆マケプラ

搭載している国勢調査や年収データなどから、市区町村や駅などの地点を中心とした周囲の人口構成や世帯年収、主な小売店舗の内訳などを表示し、その街の特徴を簡単に知ることができるクラウド型の商圈分析サービス

◆ラインナップ

プラン	特徴	月額@1ID	利用方法
シンプル (旧スタンダード)	分析結果を簡易商圈レポート(PDF)作成	1,980円	WEBブラウザ
ライト (旧プレミアム)	「シンプル」の機能に条件絞り込み分析機能がプラス	10,000円	WEBブラウザ
スタンダード	「ライト」の機能に顧客データ取り込み機能がプラス	20,000円	WEBブラウザ

GIS

■地図ステーションリー「mati mati(マチマチ)」のラインナップに 名古屋と広島が仲間入り (2017年2月8日)

2016年1月のシリーズ発売以降、大変好評をいただき、名古屋と広島を新たに加え、色とりどりの全12都市48種類のラインナップへ

◆商品アイテム (全4アイテム)

- ・3LAYER mati FILE (クリアファイル) :380円
- ・STREET MEMO TAPE (マスキングテープ) :430円
- ・MAP WRAP NOTEPAD (ノートパッド) :380円
- ・TRAVEL TAG FUSEN (ふせん) :480円

◆地図柄エリア (全12エリア)

丸の内、表参道、吉祥寺、福岡・天神
京都、梅田、神戸、横浜、仙台、札幌
名古屋、広島 《新登場》

◆取扱店舗

- ・当社公式オンラインショップ「ZENRIN Store」
- ・ロフト各店舗
- ・ネットストア omni7



出版

■(株)TSIグループヴァンドスポーツが展開するアパレルブランド 「MASTER BUNNY EDITION」のデザインに、当社地図データが 初採用 (2017年2月10日)

当社は地図データをデザイン化したステーションリー「mati mati」シリーズを展開するなど、長年蓄積してきた地図データ等を活かした用途開発による新たな市場開拓を推進中

今回、当社からアパレルデザインへの地図データの活用をMASTER BUNNY EDITIONに提案し、地図のデザイン性の高さを感じていただいたことからコラボレーションが実現

◆地図デザインのエリアは「江の島」周辺

PEARLY GATES(パーリーゲイツ)/MASTER BUNNY EDITIONのアドバイザー・スタッフのプロゴルファー、木戸愛選手(当社所属)が生まれ育った場所から程近い神奈川県藤沢市の「江の島」周辺



出版

■ドローンの安全飛行をインフラ側から支援する「ドローンハイウェイ構想」の実現に向け、東京電力ホールディングス(株)との業務提携を発表

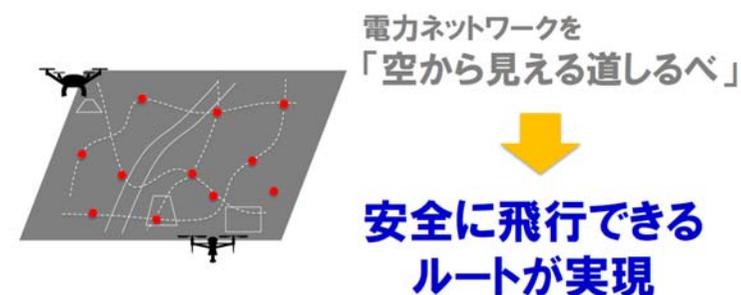
(2017年3月29日)

東京電力ホールディングスと当社は、東京電力グループが保有する変電所、送電鉄塔・電柱、架空送電線などのインフラデータと、当社が開発を進める空域情報を3次元化した“空の3次元地図”を組み合わせ、2019年度の「ドローンハイウェイ構想」実現に向けて取り組む

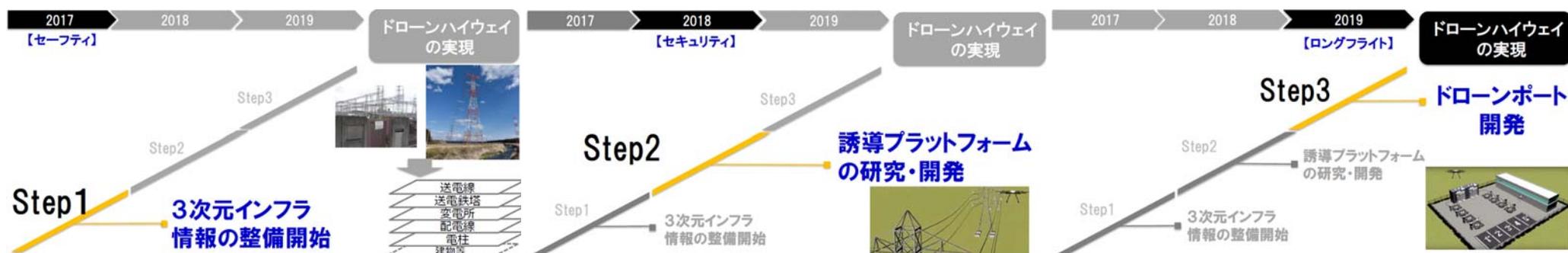
業務提携の概要

- ◆ドローンの飛行障害となるインフラ情報の3次元化
- ◆インフラ設備点検に必要な誘導プラットフォームの研究・開発
- ◆充電設備を有したドローンポートの開発

ドローンハイウェイ構想



実現までのロードマップ



■(株)Will Smartが、九州旅客鉄道(株)*と訪日外国人対応の運行情報案内システムを共同開発 (2017年3月29日)

*以下、JR九州

訪日外国観光客を含む駅利用者の利便性向上を目的として、運行情報案内システムをJR九州と共同開発
県庁所在地駅などに順次設置し、運用を開始

機能、設置箇所など

◆リアルタイムな情報表示(日英中韓国の4言語)

- ・駅が保有するPCやスマートフォンでシステムの管理画面を操作することで、インターネットを介してリアルタイムな情報を提供
- ・JR九州アプリの機能である列車位置情報(どれどれ)との情報連携も実現しており、運行情報だけでなく、リアルタイムな列車の在線位置の把握も可能

◆4Kの高精細画像による高い視認性

ソニーマーケティング(株)が販売しているAndroid TV™機能搭載液晶テレビブラビアに、Will Smartが開発したデジタルサイネージ配信システム「Will-Sign for ブラビア」を利用

◆合計30駅33箇所に設置

- ・博多駅、佐賀駅、長崎駅、大分駅、熊本駅等の県庁所在地駅
- ・別府駅、ハウステンボス駅等の観光駅

画面イメージ



設置風景



ZENRIN

Maps to the Future

株式会社ゼンリン <http://www.zenrin.co.jp>
コーポレート本部 経営管理・IR部
IR問い合わせMail : zenrin-ir@zenrin.co.jp